

「健やか力(ヘルスリテラシー)向上サポート活動」

「元気フェスタ PartIV」活動

看護学科4年

秋山遠見 ・ 小軽米さとみ

プログラム

月日	内容
11月19日	オリエンテーション 家族の機能・家族の構造
11月26日	家族支援(援助)とは 障害のある子どもと家族看護
11月30日	地域で育児をするということ 地域で支援するということ
12月21日 ～ 1月23日	地域における家族支援プログラムの企画
2月3日	大学生プレゼンツ「元気フェスタ! PartIV」
2月4日	振り返り

15の企画を実施



活動のねらい

元気フェスタは授業の一環

看護学科2年生 後期必修科目「**家族援助論**」
授業の目的

家族に関する基本的な知識のほか、家族看護、家族支援の具体的方法について理解し、地域における家族支援の実際を通して、学生が積極的に地域のさまざまな活動に主体的に関わることができるよう、学生のヘルスリテラシー向上を目指し、さらに住民のヘルスリテラシー向上に寄与する。

来場者数 1,114人



肩温電法ブース



肩温電法ブース

来場者数 80人程度

来場者の特徴

幅広い年代層 家族連れ 特に40代以上の女性
リピーターの方

来場者のヘルスリテラシー向上につながったか

来場者にパンフレットを渡し、説明してから肩温電法をした。
肩こりについての知識と改善のための行動を起こす意識づけに
なったと思われる。

学生の学び

アスパムで健康フェスタがあることを知ったうえで、参加して
いる人も多く、健康への興味があることが伺えた。「楽しかった」
「また来たい」との声もあり、ヘルスリテラシー向上のためにこのよ
うなフェスタを開催する意義を感じた。

統括グループとして



統括グループとして

来場者数 全体では延べ 1,114人

来場者の特徴

40代、70代、女性、青森市内から来ている人が多かった。
偶然来た方、チラシをみて来た方が多かった。

来場者のヘルスリテラシー向上につながったか

アンケートから、自分の健康に興味をもてたと回答した人が
多かった。これからの生活に活かせそうな情報であったと回答
した人が過半数あった。「食べ物に気を付ける」「ラジオ体操を
続けたい」など、前向きな感想が多かったことから、向上につな
がったと思われる。

学生の学び

事前準備から各ブースのグループに積極的にかかわり、統括
としての管理に努めた。批判的な視点からの情報収集も必要
であると感じた。

「元気フェスタ! Part V」

2020年
2月1日(土)
サンロード青森で開催予定

是非、いらしてください。